



桐 蔭 高 等 学 校

「文武両道」「**改 革 と 伝 統**」
「**桐蔭は、自ら人生を切り拓く人を育てます**」
マンスリータイムズ 平成26年11月号

Toin

キャリア教育研究開発学校実地調査 7日(金)

11月7日(金)に、文部科学省から初等中等教育局教育課程課教科調査官 長田徹 氏と初等中等教育局教育課程課教育課程企画室企画係係長 度會友哉 氏が、研究開発学校実地調査のために来校されました。そこでは、桐蔭中学校1年生の「キャリア桐の葉Ⅰ」と高等学校1年生の「キャリア桐の葉Ⅳ」の授業を参観してもらいました。中学校1年生は、和歌山の自然について調べたことをポスターセッションで発表するための準備を行いました。高等学校1年生は、上で紹介した15年後の「私」について、クラス単位でのポスターセッションを行いました。



人権講演会(2年生) 11日(月)

2年生を対象に人権講演会が、11月10日(月)、本校柔道場に会場に開催されました。今回は、NPO法人KARALINから李 福美(イ・ポンミ)さんを講師としてお迎えし、「外国人の人権—身近な多文化共生を考えましょう!—」という題で、お話いただきました。この講演では、自尊感情を高めることの大切さや自分も他人もかけがえのない大切な存在であるということ、偏った見方をせずに心で相手の声を聴くこと、お互いの文化を認め合うことの大切さなど多くのことを熱心にお話いただきました。途中、クイズなども交えた場面もあり、生徒たちは、終始笑顔で、落ち着いたようすで聞き入っていました。「言葉や文化の違いはあっても、お互いの心に寄り添うことが大切だなあと感じました。いろいろな人と友達になって、Think Globally. Act Locally. を実践していきたいと思います。」これは講演を聴いた生徒の感想文の一節です。



和医大生(桐蔭OB)との懇談会 25日(火)

11月25日(火)、1回生4人、3回生1人の本校卒業生の現役和医大生に来てもらって、ごく短い時間でしたが、受験のこと、学生時代のこと、現在の大学生活のことを、5人それぞれの実体験から話をしてもらいました。参加した在校生は、1年生から3年生までの20人でしたが、各人が先輩の話に真剣に耳を傾けて、中には懸命にメモを取るものもありました。最難関の学部であり、相応の決意を持って受験に対峙しなければならない緊張感が感じられました。参加してくれた卒業生が、在校生に伝えてくれた事は、学校の授業を大切に、学校の先生を大いに利用する事。クラブをやっている人は、しっかりとクラブ活動に専念して、引退後は徹底的に勉強する事。定期テストには試験発表の瞬間から全力で取り組む事。受験においては「情報」が大事である事。が、5人に共通した意見でした。5人とも自信に満ちた表情で、「今」を楽しんでいる様子がありありと伝わり、参加した在校生にとっては、すごく良い刺激になりました。



— 12月の主な行事予定 —

- ・12日(金)…クラスマッチ(1・2年)
- ・22(月)・24日(水)・25日(木)…3年生三者面談(午後)
- ・24日(水)・25日(木)…1・2年生三者面談(午後)
- ・17日(水)~22日(月)…桐蔭展(県民文化会館1階)
- ・26日(金)…アセンブリー

【事務室より連絡】

年末年始は平成26年12月27日(土)から
平成27年1月4日(日)まで業務が休みになります。

和歌山県立桐蔭高等学校

〒640-8137

和歌山市吹上5丁目6番18号

TEL (073)436-1366 FAX (073)423-8033

<http://www.toin-h.wakayama-c.ed.jp>